

# 児童236人があぶくま農学校に入校

目黒区の児童が農業体験（田植え）  
地元の北郷小学校と交流



▲農学校の百姓先生の皆さん

五月八日から三日間、東京都目黒区の緑ヶ丘小学校（志茂暁子校長）の五年生三十二人が総合的学習の一環として角田市を訪れ「春の農業体験学習」を行いました。

これは、公社が昨年開校した「あぶくま農学校」の授業として、角田地区農協青年部の協力を頂きながら行われたもので、今年で二年目。

一日目は、小雨の降る中四方山への登山と桜揚水機場見学を行い、夜には、翌日の本番に備え、田植え

学習会を開き熱心に学びました。

二日目は、北郷小学校（堀籠由美子校長・児童二百四人）の体育館で、あぶくま農学校入校式が行われ、稲作、野菜、果樹、畜産等それぞれの部門を担当する農学校の百姓先生の紹介と両校の交流会が行われました。

入校式の後、早速、児童二百三十六人による田植えが行われ、あいにくの雨の中、裸足で田んぼに入り、泥の感触と、水の冷たさを感じ、元気がいっぱい歓声を上げながら、「ひとめぼれ」「みやこがねもち」の二品種をひと株ひと株大切に手植えを行いました。昼食には、児童・百姓先生等全員が輪になり、温かい豚汁を食べながら交流を深めました。また、緑ヶ丘の児童は、青年部の皆さんと餅つきを行い楽しい夜を過ごしました。

三日目は、満開となった菜の花畑で記念撮影を行い、青年部の森谷茂さんの畜舎とJAみやぎ山南納豆工場を見学し、角田を後にしました。



▲百姓先生も一緒に田植え



▲慎重にライン引き



▲前日の晩に入念に学習



▲生きた牛に初めてご対面



▲菜の花に囲まれ記念に1枚



▲雨の中、がんばったね



▲編集委員会の様子

雑誌感覚で楽しめる公社のホームページ「ウエブマガジン」あぶくま農学校」を作ろうと、三月十六日、公社会議室において編集委員会を設置し、第一回編集委員会を開きました。

委員長に山中環さん（北郷）、副委員長に斎藤栄子さん（角田）・佐藤武久さん（西根）が選ばれ、委員に岸浪純子さん（角田）、堀米薫さん（西根）、角田市農林課、公社職員で構成。角田市の魅力と農業以外の情報も取り入れた魅力あるホームページを目指すことに致しました。

ウエブマガジン・あぶくま農学校  
編集委員会を開く